

**International Myeloma Foundation, Japan**  
The Award in Aki's Memory

**2012 年多発性骨髄腫研究助成事業**

堀之内朗記念研究助成 (The Award in Aki's Memory) は、2000 年 9 月 24 日に永眠した日本骨髄腫患者の会の創立者である堀之内朗氏を偲び、国際骨髄腫財団 (IMF : International Myeloma Foundation) により設置された研究助成事業で、多発性骨髄腫の完全治癒の早期実現と治療向上に資するにふさわしいと認める研究に助成金を給付するものです。

2012 年募集より、個人が行う基礎研究とグループが行う臨床研究の 2 つの部門で、それぞれ研究課題を公募することになりました。助成課題採択者には、研究助成金とともに IMF より記念プレートが贈られます。

多発性骨髄腫研究助成金は、日本骨髄腫患者の会への寄付を財源としています。寄付者はほとんどが多発性骨髄腫の患者さんとその家族の方々に、骨髄腫治療の進展に強い願いが込められています。

**【基礎研究部門】**

応募課題より優秀な課題 2 題を採択し、最上位を堀之内朗研究助成、次点に特別研究助成を給付します。

堀之内朗記念研究助成 :	採択数	毎年 1 件
	助成期間	1 年間
	助成額	200 万円
特別研究助成 :	採択数	1 件 (公募しない年度もあります)
	助成期間	1 年間
	助成額	150 万円

**【臨床研究部門】**

応募課題より優秀な課題 1 題を採択し、堀之内朗研究助成を給付します。

堀之内朗記念研究助成 :	採択数	毎年 1 件
	研究期間	3 年間以内 (必要に応じ延長を認めます)
	助成額	100 万円

**課題選考**

多発性骨髄腫の造詣の深い専門家によって組織された研究助成選考委員会 (委員長ほか 4 名) が応募課題から選考します。

## 2012 年度研究課題募集要項

### 基礎研究部門

- 採択件数 2 件（堀之内朗研究助成 1 件、特別研究助成 1 件）
- 研究期間 2012 年 1 月 1 日から 1 年間

### 臨床研究部門

- 採択件数 1 件
- 研究期間 2012 年 1 月 1 日から 3 年間以内

### ■応募資格

日本国内の研究施設および病院に所属する個人またはグループ

### ■募集期間

2011 年 4 月 25 日（月） ～ 2011 年 7 月 8 日（金）

### ■申請に必要な書類

- 1 所定の「堀之内朗記念多発性骨髄腫研究助成」申請書様式一式
  - 2 履歴書（学歴、職歴、所属学会、資格等を記入したもの）
  - 3 申請者の所属する機関の長または部局長、あるいはこれに準ずる上司による堀之内朗記念研究助成への応募承諾書（書式自由）
- \* 申請対象の研究課題に対して受領中または申請中の助成金などの援助がある場合はその詳細を別紙に記入し、申請書類と一緒に送付下さい。同一課題で他から助成金が出る場合には助成対象とならないことがあります。審査にあたっては、上記で求められている以外の添付書類や推薦状等は考慮されません。

### ■申請書類作成上の注意

- 1 申請書類一式は英語表題、参考文献を除いて、原則として日本語で記述してください。
- 2 申請書は所定の申請書様式（Microsoft Word 形式）をダウンロードし、様式中の指示に従い必要事項を記入してください。
- 3 申請者は申請書類一式のコピーを取っておいてください。

### ■審査基準

申請者の過去の業績と研究内容から判断して有意義な結果が期待できる先導的で独創的な案件であること。骨髄腫の原因や診断や治療や予防などに関する知識の前進への寄与が大きいこと。

### ■選定結果の通知

研究助成課題採択者が決定しましたら、日本骨髄腫患者の会よりすべての申請者に対して文書にてお知らせします。

### ■研究助成採択者の講演と成果報告

研究助成課題採択者には 2011 年 11 月に東京都にて開催される日本骨髄腫患者の会総会において目録を授与いたします。また同時に研究の概要等についてのご講演を賜る

事になっております。研究期間終了後、成果報告書と助成金使途明細表をご提出いただきます。また、本助成に拠ることを明記した発表論文の別刷りを日本骨髄腫患者の会に寄贈頂きます。なお、成果報告書は本助成に拠ることを明記した発表論文別刷りで替えることも可能です。

■送付方法、送付先および問い合わせ先

申請書類一式は書留郵便または宅配便で以下に送付してください。

〒184-0011 東京都小金井市東町 4-37-11

日本骨髄腫患者の会 堀之内みどり

FAX : 042-381-0279

E-mail : owner-imfjapan@myeloma.gr.jp

■応募書類送付の締切日

2011年7月8日(金) 必着

■受領確認

申請書が到着しましたら、ファクスかEメールでご連絡します。

■その他

助成課題採択者は2011年12月にアメリカ・カルフォルニア州サンディエゴ市でおこなわれる第53回アメリカ血液学会年会でのIMF授賞レセプションに参加できます。助成金は2012年1月1日から始まる研究期間に助成課題採択者が所属する機関に対して提供されます。

日本骨髄腫患者の会のセミナー、講演会などの講師をお願いすることがあります。助成課題採択者の研究課題に対して他の機関から財政的援助の申し出があった場合、助成課題採択者は速やかに日本骨髄腫患者の会にお知らせください。本研究助成に支障が無い場合には、同じ研究課題に対して他の機関の援助を受けることができます。日本骨髄腫患者の会のホームページにて採択研究課題を紹介することに同意頂き、公開資料を提出して頂きます。

■IMFの他の助成金

日本の医師、研究者を対象とする堀之内朗記念研究助成とは別に国際骨髄腫財団では世界中の医師、研究者を対象とする研究助成金を提供しています。これらの助成金は国際骨髄腫財団への寄付金を財源として、国際骨髄腫財団から毎年提供されます。Brian D. Novis 賞は国際骨髄腫財団の創立者であり、1992年7月に多発性骨髄腫で亡くなられたBrian Novis氏の功績を記念するものです。Brian D. Novis 賞の公募および審査は国際骨髄腫財団が行います。詳細はIMFのウェブサイトをご参照ください。

\* 「国際骨髄腫財団」およびその日本支部の「日本骨髄腫患者の会」は、多発性骨髄腫とその治療法に関する正しい知識を提供し、患者の生活の質の向上の実現を使命とする非営利団体です。

以上